

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no

5

チュウホク ドット コム

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

迎春

勢いを増し伸びていく年に

中北教育事務所
副所長 米長敬生

厳寒の季節を迎えておりますが、皆様方におかれましては、希望を託す新たな年の幕開けとなりましたことに心よりお喜び申し上げます。また、日頃、中北教育事務所の地域教育関連事業への御理解と御協力に厚く感謝致します。

さて、知事が年末の記者会見で1年を振り返って表す漢字一字に「難」という文字を上げておりました。それは、東日本大震災や福島原発事故、台風災害、さらに海外ではタイの洪水、円高など国内の経済や生活に、さらに影響を与え兼ねない状況を表してのことだと思えます。昨年はそんな気の重くなる日々ではありましたが、復興に関わる多くのボランティアの温かい思いや地域の身近な人との絆の再認識、普通に暮らせることの有り難さなど大切なことを確認する年でもありました。そして、なでしこジャパン優勝は明るい話題でしたが、中北地区で二度目となる櫛形中学校駅伝部全国優勝という明るいニュースで昨年末を締めくくることができたことはなんとも言うてもうれしいことでした。生徒を含め学校関係者の皆さんや地域の皆さんの日頃からのご努力に改めて感謝と敬意を表したいと思えます。

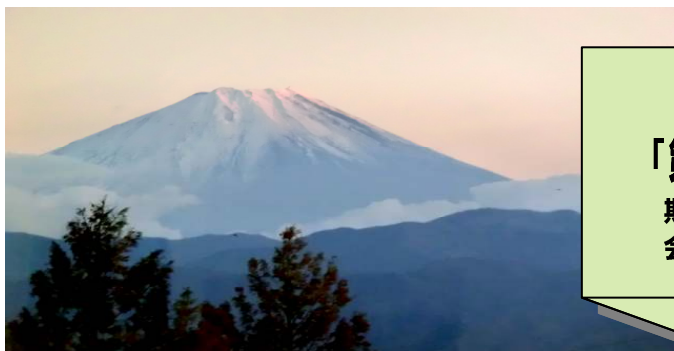
そのようななか、学校教育では中学校で新学習指導要領への移行が最終年度となり、今年から小中学校ともに全面実施となります。また、山梨県の教育振興プランも4年目を迎え、いよいよ後半に入ります。昨年より「ことぶき勸学院」の存続について大変話題になっておりますが、生涯学習や社会教育を含め教育施策全般についてもこれまでの事業や取組が、長いスパンの中でどうであったのかを検証していく時期に来ているようにも思いました。

ところで文部科学省では、国の教育振興基本計画が24年度までとなることもあり、これまでのフォローアップと東日本大震災も踏まえた中での第2期計画策定に向け審議が進められております。その策定に向けた基本的な考え方の中で「今後の教育行政の方向性」として、次の4つの内容

- ① 社会を生き抜く力の養成
- ② 未来への飛躍を実現する人材の養成
- ③ 学びのセーフティネットの構築
- ④ 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

が基本的なこととして上げられておりました。特に①や④ではこれからの生涯学習や社会教育に関わる内容として、今後の県の教育振興プランへも影響してくるのではないかと考えられます。いずれにしても目標にある「ふるさとを愛し、世界に通じる人づくり」を目指し、今後とも足腰のしっかりした確かな教育の創造に向け、中北教育事務所職員も尽力して参りますので、昨年同様、皆様方の御支援御協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は、壬辰（みずのえ・たつ）ということですが、昨年大きな悲しみに覆われましたが、今年は干支の表すように日本が再生へむけ徐々に活力をもって勢いを増し伸びていく年になることを願っております。



【お知らせ】

「第2回峡北地区地域教育推進連絡協議会」

期日：平成24年2月16日（木）午後2時
会場：北巨摩合同庁舎 3階 301会議室

平成21～23年度 山梨県教育委員会研究指定
「児童生徒キャリア育成推進事業」
小中高連携公開研究会

11月2日(水)に、甲府昭和高校、押原中学校、押原小学校の三校は、キャリア教育の推進に向けて、多くの参加者のもと、公開研究会(公開授業・講演会)を開催しました。

平成20年1月の中央教育審議会答申において、キャリア教育の充実が求められ、文部科学省は、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことを目指した新しい学習指導要領を、小学校及び中学校においては平成20年3月に、高等学校においては平成21年3月に告示しました。

また、平成20年7月には、「教育振興基本計画」が閣議決定され、今後5年間(平成20年～24年度)に取り組むべき施策の一つとして、「関連府省の連携により、小学校段階からキャリア教育を推進する。特に中学校を中心とした職場体験活動や、普通科高等学校におけるキャリア教育を推進する」ことが挙げられました。

やまなしの教育振興プラン
＝ 体系的なキャリア教育の推進 ＝

山梨県では「やまなしの振興プラン」に基づき、平成21年度から5年間の重点施策として、夢をはぐくみ、自立して生きていく力を培う「体系的なキャリア教育の推進」に努めています。

具体的には、『体系的学習プログラムの開発と実践』、『幼小中高連携による一貫した進路指導の推進』、『職業教育・ものづくり教育の推進』、『キャリア教育に関する教員の指導力の向上』、『企業や関係機関との連携に取り組む』です。

こうした中で、昭和町の3校では、「**自己と他者、社会理解を通して、児童・生徒の自立を促す**」という小・中・高連携テーマを設定し、研究を進めました。



《公開研究全体会・開会式》

この研究では、キャリア教育の目標に即して、各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間及び各種行事などの諸活動を見つめ直し、工夫や改善を加えながら各学校の特色を生かした取り組みが行われてきました。また、小・中・高のキャリア発達の課題については、児童生徒の実態に

合わせ、教育課程の接続、継続を踏まえた小・中・高それぞれの役割について明らかにするなどの取組も行われてきました。



《甲府昭和高校・グループ学習の様子》

今回の研究はこれら3校のそれぞれが校種に応じた取り組みを縦軸とし、また異校種間の連携をテーマとした取り組みを横軸とした、先進的な研究であり、大きな成果を挙げました。



《押原中学校・公開授業の様子》

小中高連携のねらい

指導内容の一貫性

キャリア教育は、各校において教育課程に位置づけられることとなっていますが、特定の教科・科目において実践されるわけではなく、学校ごとの状況、実情に応じて学校全体で実施することとなっています。

このため校種(小中高)が同じであっても、キャリア教育の目標、実施する内容には違いが生じます。地域の理解や地域との連携を重視しながら実践されるキャリア教育においては、同地域にある校種の異なる学校の目標の一貫性は重要であります。

特に小学校は、ほとんどの児童が地区内の中学校に進むことから、小中学校のキャリア教育は段階的にかつ綿密に計画されるべきです。



《押原小学校・グループ学習指導の様子》

児童・生徒の相互交流による人間関係形成能力の育成

本来一貫したキャリア教育の目標は、小中高校生が同じ目標の下に活動する機会を設定することによって、日常では限定されている異なる年齢層との人間関係が生まれます。

年少者は身近な手本としての年長者を直接知る機会となり、年長者にとっては、年長者としての自覚、責任などが生まれる機会となります。

発達段階に応じて、適切な役割分担の設定やそれに基づく活動の他、中高生の自主的な発言、行動に対する小学生の驚き、憧れや、小学生の素朴な疑問に分りやすく答える中高生の工夫など相互に人間関係を築き、維持しながら目標を達成させる過程に、人間関係形成能力を育成する要素は多く、これは、小中、中高それぞれの連携においても大きなねらいでした。

教職員の交流による相互理解の深化

小中高の教職員による相互の授業参観、訪問授業などを通して、学校における教育活動や児童・生徒の様子を知ることができます。

学校の雰囲気、授業の進め方、重視している点、児童・生徒の活動を直接見ることは、小中学校の教職員にとって、児童・生徒の将来の学習環境や学習内容の理解に繋がり、また、中高校にとっても、入学以前の学習環境や学習内容の理解に繋がりました。

講演会

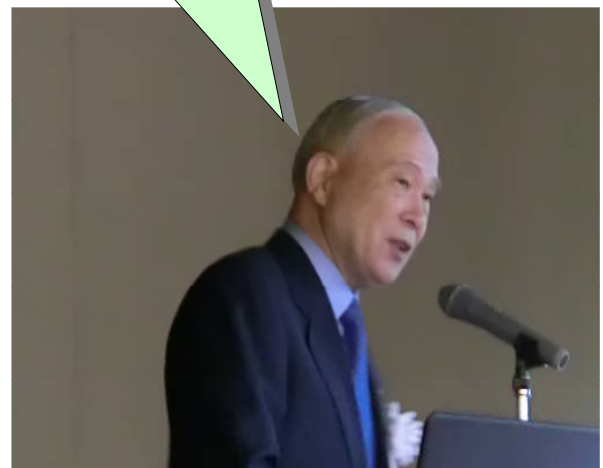
「これからの社会で求められる人材」

日本アイ・ビー・エム(株) 最高顧問
(社)経済同友会 終身幹事

北城 悟太郎 氏

求められるリーダーの役割は？

- ・ ビジョンを示し、目標を明らかにできる
- ・ どのようにビジョンを実現するか、具体策を示せる
- ・ 現場で働く人たちの動機付けをはかる



保幼小連携教育研修会 — 保幼小の連携をめざして —

『峡南・峡中地区保幼小連携教育研修会』が、10月27日(木)に白根桃源文化会館で開催されました。



《発表の様子》

管内からは、峡東・甲府地区研修会で、甲府市立甲運小学校・甲運第一保育所が「自然つながりをめざして」をテーマに、峡南・峡中地区研修会で、南アルプス市立南湖小学校・南湖第二保育所が「子どもたちの健やかな育ちのために」をテーマに実践発表を行いました。どちらも、年長児と児童との交流、指導者同士の連携・交流を柱にした研究発表で参考になるものでした。

管内からは、峡東・甲府地区研修会で、甲府市立甲運小学校・甲運第一保育所が「自然つながりをめざして」をテーマに、峡南・峡中地区研修会で、南アルプス市立南湖小学校・南湖第二保育所が「子どもたちの健やかな育ちのために」をテーマに実践発表を行いました。どちらも、年長児と児童との交流、指導者同士の連携・交流を柱にした研究発表で参考になるものでした。

第46回農林高校『収穫感謝祭』

11月5日(土)に、農林高校は地域住民の多数の参加のもと、「収穫感謝祭」を行いました。

農林高校では、農業高校に学ぶことで自然を愛し、作物や植物を育てる中で生産の意義と収穫の喜びを実感し、勤労への感謝の気持ちを高めるとともに、農業の魅力を紹介し地域住民と交流する機会としています。



《花の目利きをする地域の方々・農林高》

ことぶき勸学院交流会

かえで支援学校は、10月12日(水)に体育館において、ことぶき勸学院甲府学園生36人とのふれあい交流会を行いました。



職場訪問に来ました

11月4日(金)、韮崎西中学校の1年生8名が、中北教育事務所に職場訪問に来ました。これは、キャリア教育の一環として、1年生が4~5人のグループに分かれ、市内の企業や官公庁を訪れ、見学やインタビューを通して、社会人としてのマナーや働くことの喜び、大変さ等について学習し、自分の生き方や将来について考えることを目的に実施されているものです。



平成23年度「中北.com」No.5

編集・発行
中北教育事務所地域教育支援スタッフ

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3046

ファクス 0551-23-3013

「中北.com」は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>